

山階南だより 特別号

平成26年度 後期 学校評価アンケート集計

児…児童 保…保護者・地域 教…教職員 (%)

平成27年3月18日
京都市立山階南小学校
校長 西田 均
山階南小学校運営協議会
会長 直島 進

		項目 (質問)	A	B	C	D
①	児	学校生活は楽しいですか。	55.3	32.1	8.7	3.9
	保	子どもは楽しく学校生活を送っている。	54.3	40.6	3.9	1.2
	教	楽しい学級・仲間づくりに取り組んでいる。	72.0	28.0	0	0
②	児	先生の授業は分かりやすいですか。	49.7	36.5	10.4	3.4
	保	授業は分かりやすく工夫されている。	36.3	49.7	12.0	2.0
	教	分かりやすい授業を工夫している。	46.2	53.8	0	0
③	児	先生に大切にしてもらっていますか。	45.9	37.7	13.2	3.2
	保	教職員は一人一人の子どもを大切にしている。	38.1	45.1	14.5	2.3
	教	自己肯定感を育むように指導を工夫している。	50.0	47.1	2.9	0
④	児	みんなと仲良く協力していますか。	59.7	31.0	7.3	2.0
	保	学校・学年だよりなどから子どもの学校生活の様子が分かる。	33.9	50.2	13.2	2.7
	教	学年・学級の様子が分かるたよりを工夫している。	22.7	68.2	9.1	0
⑤	児	友達を大切にしていますか。	61.3	31.1	5.5	2.2
	保	子どもは活躍できる場や認められる場がある。	33.7	49.1	15.2	2.0
	教	一人一人を大切にする人権教育に取り組んでいる。	75.0	25.0	0	0
⑥	児	困った時は先生に何でも相談できますか。	34.7	31.6	21.7	12.0
	保	教職員は子どもからの相談に親身に対応している。	34.9	42.6	20.2	2.3
	教	子どもと何でも相談できる学級づくりをしている。	56.0	40.0	4.0	0
⑦	児	必ず宿題 (や自主勉強) をしていますか。	51.1	30.7	11.4	6.8
	保	子どもに家庭学習をするように声をかけている。	52.0	38.8	7.2	2.0
	教	家庭学習が身につくように、課題を与えている。	56.0	40.0	4.0	0
⑧	児	家庭でも読書をしていますか。	42.3	23.2	16.6	17.9
	保	家庭でも本を読むように声をかけている。	33.3	40.5	22.5	3.7
	教	読書に親しむ教育環境づくりをしている。	63.0	25.9	11.1	0
⑨	児	進んであいさつをし、丁寧な言葉づかいをしている。	40.8	36.5	16.7	6.0
	保	あいさつと言葉づかいに注意をはらっている。	48.3	41.4	10.1	0.2
	教	あいさつや言葉づかいを繰り返し指導している。	59.4	37.5	3.1	0
⑩	児	学校であったこと・友達のことを家族に話していますか。	59.1	23.6	10.2	7.1
	保	子どもとのふれあいや対話に心掛けている。	48.0	43.8	8.0	0.2
	教	教育目標と目指す子ども像に向けて教育活動に取り組んでいる。	50.0	50.0	0	0
⑪	児	地域主催の学校での取組に参加したいですか。	40.5	26.9	19.6	13.0
	保	P T Aや地域行事に進んで参加するように呼びかけている。	15.1	34.1	38.7	12.1
	教	P T Aや地域行事に参加するなど、連携を大切にしている。	37.0	44.5	18.5	0
⑫	児	地域での遊びの時、安全に気を付けていますか。	61.8	25.2	8.0	5.0
	保	安全 (交通・防犯) について話をしている。	50.4	44.5	4.8	0.3
	教	放課後の遊びや防犯・交通安全について指導している。	56.3	40.6	3.1	0

A…よくあてはまる B…あてはまる C…どちらともいえない D…あてはまらない

平成26年度後期学校評価アンケート 集計結果による考察

- ① 前期と比べA評価が少し減り、その分B評価が増えたが、子どもたちにとって学校生活は概ね楽しいようだ。前期と同様、1割程度の児童が気になる回答をしている。今後も継続して教職員がより楽しい学校・学級を目指し、児童の主体的な活動や生きて働く体験活動を重視していきたい。
- ② 前期よりもA評価が減りD評価が増えている。教員同士が日常の授業について相談したり、研究したりする機会を数多く設定し、子どもたちが主体的に学び確かな学力につながる授業を目指していきたい。
- ③ 設問1と同じくA評価が減り、B評価が増えている。児童の話をきちんと聞き、思いを受け止めるとともに、情報収集に心掛ける。また、一人一人を徹底的に大切に寄添うことや、すべての児童が自己実現できる場の工夫をしていきたい。
- ④ 概ねみんなと仲良く協力することはできているようだが、1割弱の児童が気になる回答をしている。子どもたちのよさや可能性を引き出し伸ばすために努力するとともに、学校生活の様子もさらに広報（たより・HP）していきたい。
- ⑤ 児童は友達を大切にしていると感じているようだが、1割強の保護者の期待にこたえることができていない。大人も子どもも人権感覚を磨き、言葉遣いなどを意識し、子どもを認めていく機会を増やしたい。
- ⑥ 前期より評価が低くなっている。子どもや保護者の声に耳を傾ける教職員であり続けるとともに、③と同じく一人一人を大切に寄添うことを徹底する。
- ⑦ 児童と保護者の回答は前期とほぼ同じで、家庭学習の習慣が身についてきたと考えられる。教員の課題のあたえ方や評価の方法をさらに工夫して学習の習慣化に取り組んでいきたい。
- ⑧ 本校の大きな課題であった読書習慣の定着について、毎月の親子読書の呼びかけや教育後援会の図書購入の援助などにより、A評価が増えるなど改善が見られた。学校だけでなく家庭で本を読む習慣につなげられるよう、今後も積極的に働きかけていきたい。
- ⑨ 全体的に評価が低くなっている。学年が進むにつれ親密さゆえの、言葉づかいの悪さが表れているように感じられる。場面ごとの言葉の使い分けや、気持ちのよい挨拶など、よく考えて活動していけるようにしたい。
- ⑩ 保護者・児童ともにC、Dの割合が増えた。忙しくあわただしい日々の生活の中ではあるが、子どもとのふれあいや対話にさらに心掛けていただきたい。
- ⑪ 地域行事への参加についても前期と比較すると評価が低くなっている。ふれあい土曜塾やふれあい広場、納涼祭、区民運動会などは、興味をもっている児童も多いので、保護者の方が後押しをしてくれることを期待している。
- ⑫ 安全指導については、機会あるごとに指導しているが、意識化して行動に移せるまで繰り返し指導が必要である。特に自転車の乗り方にその必要性を強く感じる。春休みに向けても、防犯や交通安全について話し込んでいく必要がある。

《学校運営協議会の皆様より》

*⑧の「読書」のところも環境づくりに先生方も頑張ってくださっていると感じました。どの項目もD評価0%の理想に近づけるように学校、地域、家庭が協力してがんばりましょう。

*同じ質問内容に対して、児童と保護者の回答に大きな差のあるのが気になる。家庭での対話を今以上に心掛けてほしい。

*安全対策やPTA・地域の取組への参加については学校の取組よりも家庭での教育の影響が大きいと思われるため、保護者の意識向上ももう少し望みたいところである。

◎学校は、まず安全で安心して教育活動が行われるべきで、一人一人を大切にした教育実践を充実していく必要があります。よりよい生き方を学ぶために、さらに優しさと厳しさをもって、学力向上・人間力向上の山階南教育を充実・向上していきます。